

【第1編 経済2-3】基軸通貨の変遷とユーロの秘密

貨幣経済の仕組み 世界の中心は米ドルか？英ポンドか？

■基軸通貨（キーカレンシー）

→世界中の通貨取引において、中心的な役割を果たす通貨

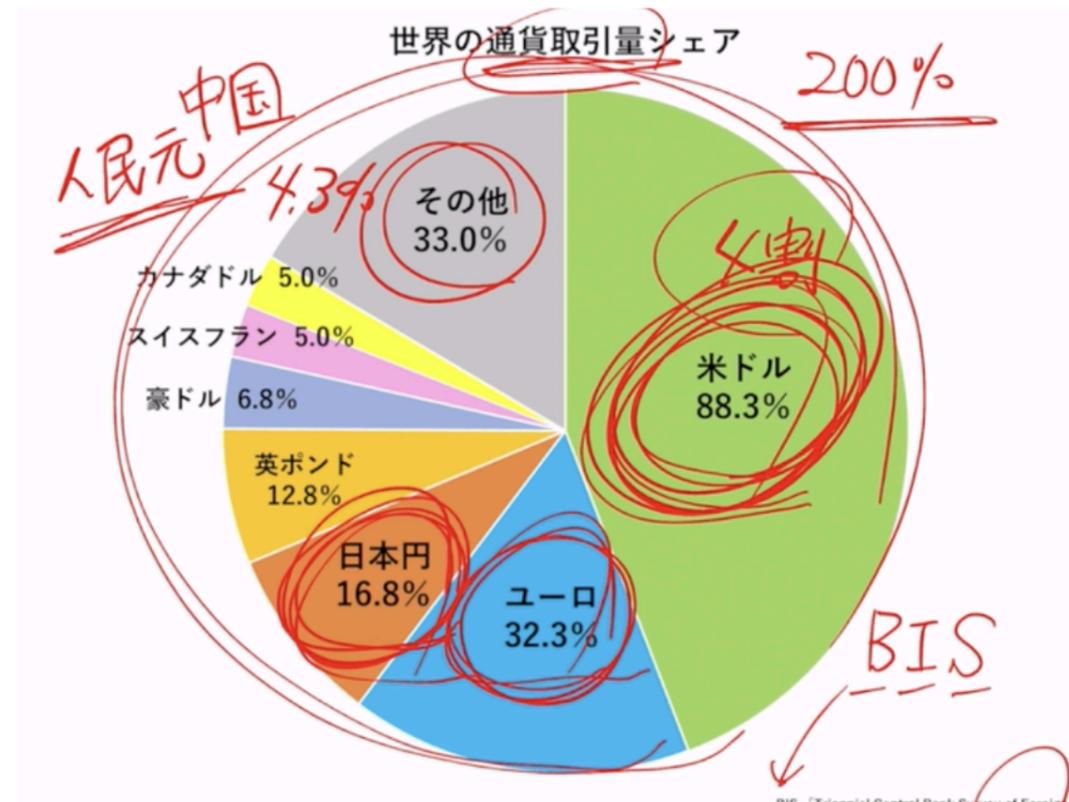
→主要通貨（メジャーカレンシー）

例：米ドル、ユーロ、ポンド等

→主要通貨の中でも最も中心的な通貨は米ドル

→現在は米ドルが基軸通貨

■世界の通貨取引量シェア



■ イギリスが夢見た超国家通貨構想

・ 1944年のブレトン・ウッズ会議

アメリカ：米ドルを基軸通貨にした通貨体制を作るべき

イギリス：どの国にも属さない通貨【バンコール】を基軸通貨にしたかった

※バンコールは

金をバンコールに交換することができるが

バンコールを金に交換することができない仕組み

一般には流通させない、個人で保有はできない

→結果として米ドルが基軸通貨に！

□ユーロ紙幣には肖像画がない

①肖像画が描かれていない

→これは地域通貨だから

②門：開かれている

③橋：つながっている

ユーロ紙幣には肖像画がない？！



ユーロ紙幣には肖像画がない？！

ゴシック



ルネサンス



ユーロ紙幣には肖像画がない？！

バロック

